

保護者向け 児童発達支援評価表

公表:平成31年2月14日

事業所名 石巻市かもめ学園

保護者等数(児童数) 14

回収数 14

割合 100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境 ・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1	1	衛生面を考慮して、保育室と食堂を別にした方が良いと思うが、現状でも許容範囲です。	現状では部屋数などにより一緒の状況ですが適切なスペース確保に向け努めて参ります。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	5	2	・分離の子どもが増えた場合、また長期休みの時に放課後等デイサービスの方に先生方が行った時には特に足りないと思います。 ・先生方がそれぞれお持ちの知識を使いもっと積極的に指導していただけたら良かったと思います。	・適切な職員配置ができるように努めて参ります。 ・職員それぞれの知識を共有し日々の保育に努めて参ります。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3	1	出入口の戸のレール部分がバギーのような小さいタイヤがついたものが通る時に乗り越えるのが大変そうでした。	バギー、車椅子等が通る場合にはレールにカバーを付け対応を行います。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14			担当の先生がしっかり向き合って計画作成してくれたと思っています。	児童発達支援管理責任者および担当保育士が連携し適切な支援を行って参ります。
	⑤ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	2			
	⑥ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	1			
	⑦ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	2		毎日登園する子どもにとっては良いと思います。	個々の発達に合わせてたくさんの経験が積めるように工夫して参ります。
	⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	8		年に一度しかなかったのもっと機会があればいいと思います。	他の施設との交流の機会が図れるように努めて参ります。
	⑨ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1		入所前に説明があり、入所後約3か月くらいして慣れたころにもう一度確認の説明があったのが良かったです。	今後とも事前説明など丁寧に説明を行って参ります。
	⑩ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14				
保護者 への 説明 等	⑪ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	13	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13				
	⑬	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1			
	⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	4	1		
	⑮	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	3			
	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2		行事等の連絡内容が先生によってバラバラだったことがありました。	職員間で共通の情報が持てるよう努めて参ります。
	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	5			
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13				
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	1			
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1			
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	11	2		生活に慣れるまでは大変だったが今では笑顔も増え担当の先生以外にも自ら近づきタッチをしたり友達と手をつないだり出来ることが増え自信に繋がりに楽しんでいると思います。	利用児との信頼関係を大切にしながら安心して楽しく登園できる場になるように心掛けて参ります。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	11	2		建物の古さ、雨漏り、一時期の毛虫の大量発生に対しては不満はありますが、その他の面では全体的に満足しています。	補修、消毒等の対策を行って参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

公表:平成31年2月14日

事業所名 石巻市かもめ学園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	1	・スペースが限られているので仕切りを利用してスペースを確保しています。	・年齢ごとに分けることが出来る支援のスペースがあるとよいと感じています。
	②	職員の配置数は適切である	3	2			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		3	2	・怪我のないように目配りや事前の点検なども行っています。	
	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1			
業務改善	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		1		
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		2	3		全般的に公開してはならず、伝達の仕方を工夫していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	2		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2			
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	2			
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5				
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2		・子どもが同じ支援や活動を受けないように週ごとにプログラムを設定しています。	
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5				
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		3	2		支援後の職員間での打ち合わせは行っていないが、担当した子どもの様子については記録として書きとめ、お互いに読み合い、共有をしています。
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		1		連携とまでは行っていないため連携に向け努力に努めて参ります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を在宅支援の為に、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4		1		
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合には、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3		2		主治医や協力医療機関等との連絡体制を整えることが出来るように努めて参ります。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2			
	㉕	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3			小学校、特別支援学校での見学会に参加し情報共有と相互理解を深めて参ります。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	3		
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	1		保育所との交流だけでなく、認定こども園、幼稚園との交流が図れるよう努めて参ります。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	1		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	5				
	㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	㉓	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5				
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3			
	㉖	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				
	㉘	個人情報の取扱いに十分注意している	5				
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	3		
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		2		
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1			
	㉝	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5				
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	1		
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		1		
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1			
	㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	2	1		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。